





## 「チームnico😊いち」ふじわらクラス @fujiwara\_class

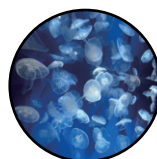
240時間のソーシャルワーク実習を終えて、自分自身が目指すソーシャルワーカーについて150字以内でまとめてみた



### Kaji Yui @赤穂精華園 to 赤穂市社会福祉協議会

私は240時間の実習を通して、利用者や地域住民と時間をかけてコミュニケーションをとり、信頼関係を築いていくことが1番大切なことであると学びました。

実習での学びを活かして、たくさんの人や関係機関と関わり、信頼され、頼られるソーシャルワーカーになれるよう努力します。



### Morita Kotone @西はりまりハビリテーションセンター to たつの市社会福祉協議会

私が目指すソーシャルワーカーは、地域で暮らす人たちと一緒に問題解決が行えるソーシャルワーカーだ。地域の人たちのもとへ直接足を運び、困りごとを発信してもらいやすい関係性を築けるようになっていきたい。SWreとしての技術、技法、知識を身につけて地域のなかで活躍できるようになっていきたい。



### Sawai Misaki @清水ヶ丘学園 to 明石市社会福祉協議会

私が目指すソーシャルワーカーは「誰にでも伝わりやすい言葉遣いができるソーシャルワーカー」です。専門知識を極めれば極めるほど相手にとってわかりにくい言葉で会話を進めてしまいがちです。相手の理解度に合わせた適切な言葉や手法を使って、相手が話していていい気持ちになってもらえるような表現を心掛けます。



### Takahashi Shima @立正学園 to 加古川市社会福祉協議会

私が目指すソーシャルワーカーは、権利擁護が権利侵害にならないよう、本人が持っている力を尊重した支援をしていきたい。そして、支援を必要とする人々の感情や状況に寄り添い、深い共感を持って接することが求められると学んだため、コミュニケーションを大切にして本人主体の相手に寄り添った支援をしたい。



### Satoyama Yune @ケアハウス アゼリア to たつの市社会福祉協議会

私が目指すソーシャルワーカーは、人に寄り添い、ほんの些細な違和感に気づくことができる人になりたいです。ソーシャルワーカーは相談職であるがゆえに、クライアントとの関係性づくりこそ、慎重に行わないといけません。人は関係性作りからなり、些細な気づきと観察が役に立つ瞬間があります。クライアント自身が少しでも心を開き、頼ってくれるような存在になりたいです。



### Sakata Yu @愛心園 to 上郡町社会福祉協議会

240時間の実習を経て私が目指すソーシャルワーカーは、一人ひとりの価値観や考え方を尊重し、自分自身に向き合い、その人の立場に立って理解する姿勢を忘れないこと。また、クライアントに寄り添う際には、クライアントの持つ様々な「望み」や「可能性」を大切に関わることができるソーシャルワーカーを目指します。



## 「ふわふわのオムレツ」 ぶじわらクラス @fujiwara\_class

240 時間のソーシャルワーク実習を終えて、自分自身が目指すソーシャルワーカーについて 150 字以内でまとめてみた



## Chiba Rina @あじさいの丘牛窓 to 高松市社会福祉協議会

240 時間実習を終えて私が目指すソーシャルワーカーは、今ある社会資源を活用するだけでなく、新しい社会資源を開発・発見できるソーシャルワーカーです。実習を通して、地域で生活していくためには既存の社会資源だけでは対応できない課題も多いことを学び、新しい社会資源を生み出すことが大切だと分かりました。



## Furukawa Sho @のぞみの家 to 神戸市社会福祉協議会

私は実習を得て、身の回りには様々な人が問題を抱えていることを知り、頼る先を増やせるソーシャルワーカーになりたい。また、現代の福祉の課題は多様で複雑であることを学び、福祉だけの視点ではなく、隣接している分野など視点を養い、組み合わせることで出来るソーシャルワーカーになりたい。



## Takeda Mami @星陽 to 相生市社会福祉協議会

実習を終えて私が目指すソーシャルワーカーは、クライアントが自己表現しやすい雰囲気を作り、傾聴できる人だ。実習を通して、個別で話す時間を作るのが難しいと学んだので、少ない回数でもクライアントについて深く知れるように、信頼して貰えるように聴く力を高めていきたいと思った。



## Miki Ayame @ケアハウス アゼリア to 太子町社会福祉協議会

実習を通して、私が目指すワーカー像はこの人がいてくれたら安心すると思ってもらえる頼りがいのあるソーシャルワーカーです。そのためには日頃から積極的に地域に出向き、住民との信頼関係を深めていくことで、より多くの地域資源や情報の把握をしていくことが大切だと分かりました。



## Sekimoto Risa @サンライフ西庄 to 相生市社会福祉協議会

専門職として確かな専門性を持って支援を行うことは大切ですが、何よりも関係性を築くことが良い支援に繋がると実習を通して感じました。そのため、支援で関わるすべての人に信頼されるソーシャルワーカーになりたいです。



## Maeda Riko @東備地域生活支援センター to 赤穂市社会福祉協議会

240 時間実習の中で、様々なニーズを抱える方たちと出会いました。ニーズの解決は決して簡単なことではないけれど、専門職としてはその課題に親身に向き合う姿勢が大切だと思いました。

私は、コミュニケーションを大切に信頼関係を築くことで地域や地域住民に寄り添い、頼られ続けるソーシャルワーカーを目指します。

私たちの共通点は…

**01** 60 時間・180 時間実習を同じ市町内で行った

**02** 60 時間を入所施設で行った

言葉の確認

### 地域住民

特定の地域に住み、生活の拠点としている人  
地域行事や活動に参加する

### 小地域福祉活動

地域住民が自らの課題を認識し、自分たちで解決する取り組みで、地域コミュニティの結束を強め、住民の課題解決能力を向上させることを目的としています。

### サロン

**注目！**

社協事業の小地域福祉活動の一環で仲間づくり、出会いの場づくり、健康づくりなどを目的とした活動を行います。様々な住民が参加し、触れ合いを通じて地域を支えあう居場所です。

## サロンにおける課題

**メンバーの固定化  
参加できていない地域住民**

**入所施設で生活しているため  
参加できていない住民がいる**

サロン参加者、入所施設利用者の声を紹介

## 誰でもサロンに参加できることが 本当のサロンの在り方ではないか

### サロン 01.

足がない人のために地域住民が協力して送迎を行っていた

どのサロンにも送迎できる仕組みづくりが必要

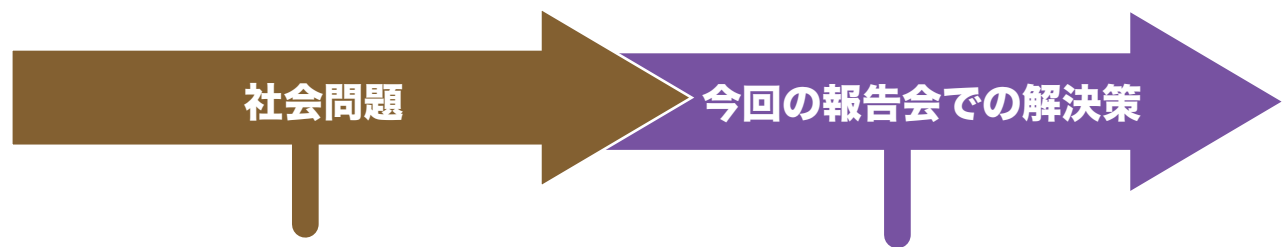
### サロン 02.

地域に住む障がい者の人も巻き込み 3 世代交流を行っていた

施設に住む人たちも参加できる居場所づくりができるのでは??

高齢者も障がい者も等しく社会参加が実現する  
ノーマライゼーションの重要性

## & バリアフリー



社会問題

今回の報告会での解決策

社会的障壁の有無に関係なく、その人が参加したいときに参加したいところへ参加できる環境が整っていること

移動手段がない人や入所施設の利用者のように参加したくても参加できないという状況を改善し、地域活動に参加できる機会を増やすことが求められている

実習に向けて

### 入所施設

職員の利用者への関わり方を観察すること  
そばで見守る、利用者ができることを奪わない

### 社会福祉協議会

実習に行く、市町村の地名や概要を調べておく  
実習生同士で解決せずに、気になったことはすぐ職員に質問する

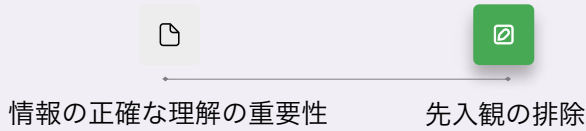
### 240 時間実習として

その支援にどんな人や機関が関わっているのか考える  
笑顔が大切



# 01 技術

## 先入観を持たずに情報を理解する



## 非言語コミュニケーション

- 表情や仕草を理解する
- 信頼関係の築き方

## 目的のふり回り

### 定期的な目的の確認

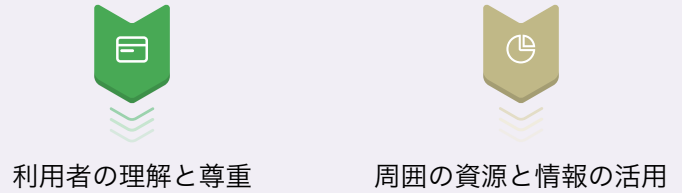
振り返りのプロセスでは、クライアントとの対話を通じて目標の達成度を確認し、課題を洗い出すことが重要です。

### 方向性の調整

クライアントの状況やニーズに応じて、支援の方向性を適宜調整することが求められます。

# 02 特性理解

## 個別支援の展開



## 地域との関係構築

### 地域住民との信頼関係

地域住民との信頼関係を築くことは、効果的な支援を行う上で極めて重要です。地域社会と良好な関係を維持することで、クライアントが必要とするリソースやサポートが得やすくなります。このためには、地域活動やイベントに参加し、地域住民との交流を深める機会を持つことが推奨されます。地域住民の理解と協力を得ることで、クライアントに対する支援がより包括的で協力的なものとなります。

### 地域への介入の難しさや解決策

地域への介入には多くの課題が伴います。拒絶や誤解、異なる価値観が障害となります。しかし、適切なアプローチと柔軟な対応を行うことで、これらの課題を克服することが可能です。地域への介入を成功させるためには、コミュニケーションスキルの向上や地域文化の理解が不可欠です。また、地域のリーダーや影響力のある人物との連携を強化することで、介入が円滑に進むよう支援することが求められます。

# 03 多職種連携

## 複合的な問題の理解

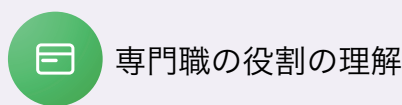
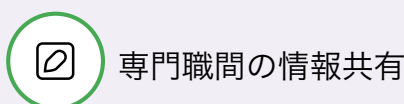
### 地域の多様な問題

地域で困っている人々は、多様な問題を抱えていることが多いです。これには、経済的困難、健康問題、社会的孤立など、さまざまな要因が絡み合っています。これらの複合的な問題を理解することは、効果的な支援を提供するための第一歩です。

### 問題解決のアプローチ

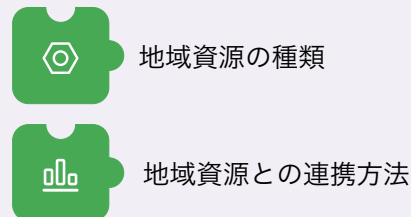
多種職連携を強化し、各専門職が持つ知識やスキルを活用することが求められます。各専門職が協力し、総合的な支援を提供することで、複合的な問題に対する効果的な解決策を見つけることが可能です。

## 専門職の協力



# 04 つながり

## 地域資源の活用



## 地域ニーズの把握

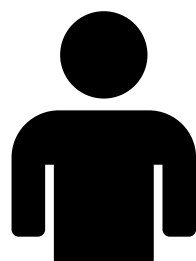
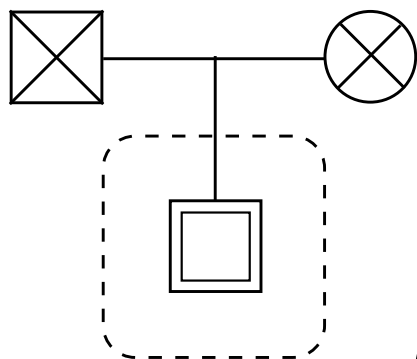
### ニーズに応じた支援計画

地域のニーズを正確に把握するためには、定期的な地域調査が重要です。地域調査を通じて、どのような問題が存在し、どのような支援が求められているかを明確にすることができます。地域調査の結果を活用することで、支援の方向性や方法を適切に計画し、クライアントのニーズに応じた効果的な支援を提供することが可能となります。

### 地域調査の重要性

地域のニーズを把握した上で、具体的な支援計画を策定することが重要です。支援計画を策定する際には、地域の特性やニーズを考慮し、柔軟で現実的なアプローチを考えることが求められます。支援計画の策定には、多様なステークホルダーの意見を反映させることが重要です。これにより、地域全体の合意を得た上で、効果的な支援を提供することが可能となります。





Aさん

コロナで失業 知的障害 手帳あり。

前職 飲食店社員 学校は特別支援学級

一人暮らしで、近くに頼れる人がいない。

## ライフヒストリー

生まれてからコミュニケーションを取ることがすこし難しいこともあったが、三歳児検診では、とくに知的障害であるとは言われずに小学校に進級した。しかし、小学校に入るとコミュニケーションや、勉強に対して難しくなり、通級指導に通うようになった。小学校の先生の勧めもあり、中学からは特別支援学校に通うようになった。特別支援学校を卒業後は特別支援学校で紹介された飲食店で15年間働いていた。しかし、コロナの影響で働いていた店が潰れてしまい、失業した。民生委員が生活に困っているAさんを見つけて、民生委員は社協に相談をした。相談を受けた社協職員がAさんの家に訪問をして相談を受けた際に新型コロナウイルス特例貸付を受けた。その相談を受けたから1年が経ち返済期間になったが、返済ができていない状況にある。返済期間中に就職活動をしていたが、障害者であるため採用してくれる企業が少なく就職出来なかったという。さらに、就活を続けていくうちに精神的に疲れてしまい就職活動も続かなかった。Aさんは、もう一度職につき生活をしていきたいと言っている。

私たちの事例検討をメモしましょう